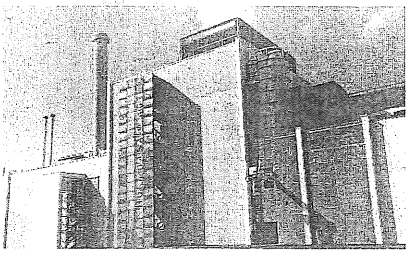


独社バイオマス発電 日本事業

トーヨー建設が買収

中堅ゼネコン（総合建設会社）のトーヨー建設（東京・葛飾、岡田吉充社長）は、独重工大手テ



取得したバイオマス発電施設と同型の設備

ィッセンクルップが日本で手がける木質バイオマスガス化発電事業を買収した。ティッセンクルップの事業再編に伴うもので、買収額は数億円のも

利用で先行する欧州の技術を日本に導入するため15年に設立。国内で間伐材などの森林資源を、電気と熱に変換する木質バ

イオマスのガス化発電システムを手がける。トーヨー建設は関東地区で、商業ビルや住宅の建築を手がける。2017年3月期の単独売上高は150億円を見込む。

画だ。再生エネルギー発電施設の建設から、運営管理などのサービスまでをグループで一括提供する。

よ。買収によりトーヨー建設は、発電所の建設から運用・管理まで一括提供する体制を整える。

トーヨー建設が買収したのは、ティッセンクルップ・オットー・バイオマス社。2月下旬に買収合意を交わした。

同社は独ティッセンクルップが、バイオマスの

12年には太陽光発電や農業を手がけるトーヨーエネルギーファーム（福島県相馬市）を設立する

など、建設業以外の収益源の育成に力をいれている。海外を含めた同社の再生可能エネルギー事業の売上高は今期、約15億円を見込んでいる。

ティッセンクルップ・オットー・バイオマスはトーヨー建設の子会社化に伴い、社名をトーヨーエネルギーソリューションに変更する。

に約60億円まで増やす計画